

岩手の未来を切り拓く 復興道路シンポジウム

～沿岸と内陸を結ぶ釜石道全線開通へ～

日時 平成31年1月19日(土) 13:30～16:00

会場 釜石市民ホールTETTO **入場無料**

(釜石市大町1-1-9)

※お車でお越しの方は近隣の駐車場をご利用ください。

○**オープニングイベント** 両石虎舞(両石虎舞保存会)

○**開会挨拶** 岩手県知事 達増 拓也

○**第1部 基調講演**

テーマ 「本物の復興をなし遂げるために」

講師 徳山 日出男 政策研究大学院大学 客員教授
Hideo Tokuyama (元国土交通事務次官)

【略歴】 東日本大震災津波の発災時の国土交通省東北地方整備局長。
当時、被災者救援の陣頭指揮を執られたほか、復興道路全線事業化やその後のかつてない
スピードでの整備に多大な尽力をいただいた、復興道路の生みの親。



○**第2部 パネルディスカッション**

テーマ 「つながる復興道路、これからの釜石・岩手」

アドバイザー：徳山 日出男

出演者プロフィール



コーディネーター

千葉 星子
Seiko Chiba



パネリスト

岩崎 昭子
Akiko Iwasaki
宝来館 女将



パネリスト

桜庭 吉彦
Yoshihiko Sakuraba
釜石シーウェイブス
ゼネラルマネージャー
兼監督



パネリスト

岩間 英治
Hideharu Iwama
釜石大槌地区行政
事務組合消防本部
総務課長



パネリスト

沼崎 健
Takeru Numazaki
元釜石東中学校生徒会長、
語り部

※敬称略 ※パネリストは「五十音順」

○**開会挨拶** 釜石市長 野田 武則

主催：岩手県・釜石市

後援：岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日日新聞社、産業経済新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、釜石新聞社、盛岡タイムス社、日刊岩手建設工業新聞社、一般社団法人共同通信社盛岡支局、デーリー東北新聞社、テレビ岩手、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、三陸ブロードネット株式会社、エフエム岩手、岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会、東北横断自動車道釜石秋田線釜石・花巻間建設促進期成同盟会、大船渡・釜石・大槌・山田間三陸縦貫自動車道整備促進協議会 (順不同)

問合せ：岩手県県土整備部道路建設課計画調査担当 電話019-629-5868 (直通)
釜石市建設部高規格幹線道路対策室 電話0193-22-2111 (内線416)

- 本県沿岸と内陸を結ぶ**初**の高速道路
- 国の復興道路・復興支援道路で**初**の全線開通
- 本県で開催する**初**の復興道路シンポジウム

シンポジウムの目的

未曾有の被害をもたらした東日本大震災津波から8年が経過しようとしています。復興のリーディングプロジェクトと位置づけられた復興道路・復興支援道路は、まさに「かつてないスピード」で整備が進められています。

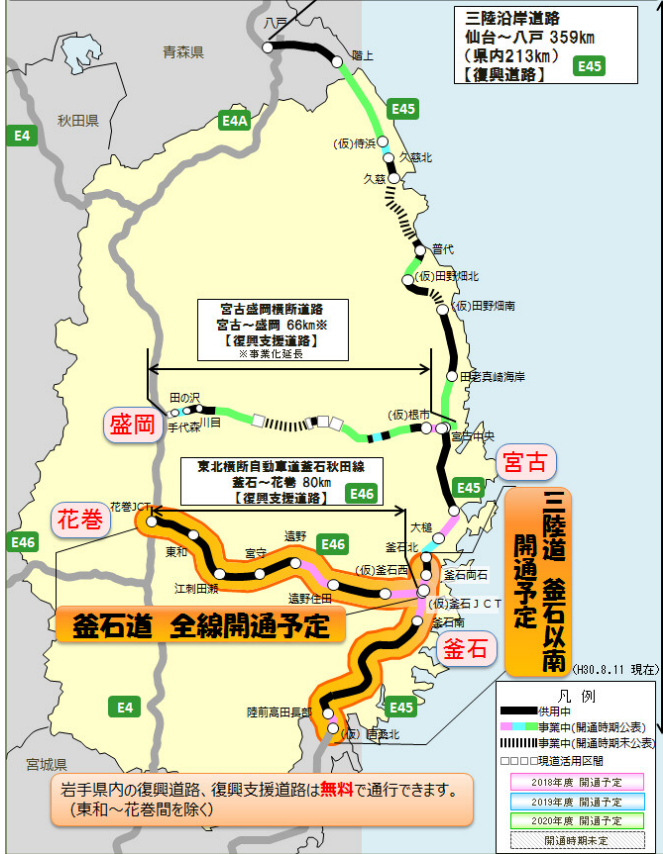
平成30年度中には東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通が予定され、**史上初めて本県沿岸と内陸が高速交通体系で結ばれます。**

本シンポジウムでは、復興道路・復興支援道路の事業化から着工、そして開通に至るまでの取組をお知らせするとともに、復興道路等のストック効果や今後への期待を市民、県民の皆さんから発信します。



平成24年11月4日、「即年着工」起工式が行われた釜石道の釜石～釜石西も平成30年度中に開通します。

【岩手県内】復興道路等の開通状況



平成30年度中には釜石道の全線と三陸道の釜石以南が一本につながる予定です。

岩手の未来を切り拓く復興道路シンポジウム

参加申込書

シンポジウムに参加ご希望の方は、本紙をFAXいただくか、お電話またはメールにて下記よりお申し込みください。
 ※事前のお申し込みがない場合でも入場可能です。

【開催日時】平成31年1月19日(土) 13時30分～16時00分
 【会場】釜石市民ホール T E T T O

| | | | |
|----------|--|------|---|
| 会社名・学校名等 | | | |
| 御担当者名 | | 参加人数 | 人 |
| 御連絡先電話番号 | | | |

お申込：県庁県土整備部道路建設課計画調査担当
 FAX：019-629-9124
 電話：019-629-5868
 メール：AG0003@pref.iwate.jp